

# 令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
解剖学3							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験			
鍼灸学科・昼間部	1年	前期	亀谷 文人				
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
基礎分野	人体の構造と機能			座学	2	20	
科目概要							
人体の構造を理解するために、解剖学を学び、鍼灸師に必要な消化器系・泌尿器系・生殖器系・内分泌系・神経系基礎の知識を身に付ける。							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	正常な人体の構造と機能を理解するために、消化系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系の基礎知識をまた、生命活動の維持に必要な神経系の概要を理解することでその役割についての基礎知識を習得						
	<b>到達目標(SBO)</b> <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1、消化管の全体像を順序に沿って理解し教科書の太字を述べられるようになる。 2、各消化器の構造的特徴を理解し、教科書の太字を述べられるようになる。 3、肝臓、胆嚢、膵臓、膵臓等の付属機関について教科書の太字を述べられるようになる。 4、腎臓の構造を原の生成から発達まで系統的に教科書の太字を述べられるようになる。 5、男女の生殖器における特徴と違いを理解し教科書の太字を述べられるようになる。 7、各内分泌器官の特徴と分泌腺の特徴について理解し教科書の太字を述べられるようになる。 8、神経系の概念と全体像を理解しその概要について教科書の太字を述べられるようになる。					
履修に必要な予備知識や技能							
教科書読解能力(専門用語を調べる能力) コミュニケーション能力 体内の構造を自分や他者の身体からイメージできる能力							
教科書・参考書							
教科書・東洋療法学校協会編解剖学 参考書・東洋療法学校協会編生理学							
受講上の注意							
資料等はその都度配布する。学習時は騒いで他学生に迷惑を掛けないこと。 教科書の構成と一部変更して授業を進行する。 授業の進行に関しては学習の習熟度に応じて予定に変更が生じることがある。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	消化器1:総論・口腔			p69~75	ノート・色ペン		
第2回	消化器2:口腔・咽頭			p75~76	ノート・色ペン		
第3回	消化器3:咽頭・食道			p76~77	ノート・色ペン		
第4回	消化器4:胃			p78~79	ノート・色ペン		
第5回	消化器5:腹膜・小腸			p87~88	ノート・色ペン		
第6回	消化器6:大腸			p81~84	ノート・色ペン		
第7回	消化器7:肝臓			p84~86	ノート・色ペン		
第8回	消化器8:胆嚢・膵臓			p86~87	ノート・色ペン		
第9回	泌尿器1:総論・腎臓			p89~90	ノート・色ペン		
第10回	泌尿器2:腎臓			p90~93	ノート・色ペン		
第11回	泌尿器3:尿路			p93~94	ノート・色ペン		
第12回	生殖器1:男性生殖器			p95~99	ノート・色ペン		
第13回	生殖器2:女性生殖器			p100~106	ノート・色ペン		
第14回	神経系基礎1:概念・総論			p115~116	ノート・色ペン		
第15回	神経系基礎2:総論			p116~118	ノート・色ペン		
第16回	神経系基礎3:伝導路			p131~132	ノート・色ペン		
第17回	神経系基礎4:伝導路			p132~133	ノート・色ペン		
第18回	神経系基礎5:伝導路			p133~134	ノート・色ペン		
第19回	試験				ノート・色ペン		
第20回	内分泌:総論			p111	ノート・色ペン		
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
kametani@nihonisen.ac.jp							